

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。
問合先 農林水産課



⑬ 京都府京田辺市

▶平成28年12月22日、
石井明三 京田辺市長(左)
と協定を締結



京田辺市の特産品



- 面積：42.92km²
- 人口：69,014人・28,748世帯（平成29年11月1日現在）
- 市の花：ひらどつつじ ●市の木：南京はぜ

京田辺市は、明治39年、田辺村が町制施行により田辺町になり、昭和26年には大住村、三山木村、草内村、普賢寺村を編入・統合し、現在の市域となり、平成9年4月1日、市制を施行し、京田辺市となりました。京都・大阪・奈良の3都市を結ぶ京阪奈丘陵に位置し、関西文化学術研究都市の一翼を担う都市として知られています。

悠々と流れる木津川、生駒山系に連なる甘南備山などの豊かな自然に恵まれ、全国に誇る特産品がその自然環境の中で育まれてきました。日本茶や京阪神市場で人気の田辺ナスや市内の竹林でとれる良質のタケノコなどが、京田辺市を代表する特産品です。特に、日本茶の最高峰と言われる玉露は、京田辺市の穏やかな気候と高い栽培技術が生み出す一級品として有名です。

京田辺市は、高い利便性と優れた自然環境を生かした「緑豊かで健康な文化田園都市」を目指し、ひきつげる未来を合言葉に「未来のふるさと京田辺」の創造に取り組んでいます。



- 面積：197.79km²
- 人口：35,549人・14,340世帯（平成29年11月1日現在）
- 市の花：春サクラ、夏ハマナス、秋キキョウ、冬サザンカ
- 市の木：クロマツ

相馬市は、昭和29年に中村町・大野村・飯豊村・山上村・玉野村・八幡村・日立木村・磯部村の1町7村の合併により誕生しました。福島県の東北端に位置し、西に阿武隈山地が連なり、東は太平洋に面しています。

現在重要港相馬湾を開発拠点として、その背後に相馬中核工業団地を造成し、優良企業の立地促進を図り、福島県北部沿岸地域の中核都市として着実に進展しています。

昭和53年に、国の重要無形民俗文化財に指定された相馬野馬追の祭りが有名であり、相馬市の特産品としては、青のり、ホッキ貝、ズワイガニ、松葉ガニなどの海産物、米、梨などの農産物、相馬牛などが知られています。

相馬市は、長い歴史に培われた文化と伝統を基盤に「未来に向かって伸びゆく福祉と文化の都市そうま」を目指しまちづくりに取り組んでいます。



⑭ 福島県相馬市

▶平成28年12月26日、
立谷秀清 相馬市長(右)
と協定を締結



相馬市の特産品

